

「高齢者虐待の早期発見と防止のために」 文＝ 中寺 優介（社会福祉士）

高齢化社会を迎える日本において、高齢者虐待は深刻な社会問題となっています。家族や近隣住民、介護職員など、高齢者を取り巻く立場の人々によって、身体的、精神的、経済的、性的、そしてネグレクト（介護放棄）など、様々な虐待が行われています。高齢者虐待は虐待を受けている高齢者だけではなく、虐待をしてしまった養護者も苦しんでいることが多いのが特徴です。

虐待の種類とサイン：見過ごせない兆候

高齢者虐待は、必ずしも目に見える傷跡を残すわけではありません。次のサインに注意し、早期発見に努めることが大切です。

- 身体的虐待 … 打撲、やけど、骨折などの外傷、不適切な薬物使用
- 精神的虐待 … 脅迫、侮辱、無視、孤立
- 経済的虐待 … 預金や年金の不正利用、財産の横領
- 性的虐待 … 強制的な性的行為
- ネグレクト … 適切な食事、医療、衛生ケアの不足、放置

私たちができることで高齢者虐待を防止しよう

高齢者虐待の防止には、地域社会全体での取り組みが不可欠です。

私たち一人ひとりが、周り的高齢者に関心を持ち、少しでもおかしいと感じたら、ためらわずに声を上げる必要があります。



どこに相談すれば良いのか？

虐待のサインに気づいたら、ためらわずに羽幌町地域包括支援センターに相談してください。匿名の相談も可能です。

➡相談先 羽幌町地域包括支援センター（すこやか健康センター内） ☎ 62-6021

羽幌町のこどこ？ 答え



答えは栄町の三叉路です。

約50年前は国道に信号がなく、周辺も栄町夕陽ヶ丘団地、ホクレンショップ、ガソリンスタンド等の建物はありませんでした。また、北海道立羽幌病院も現在の位置とは異なり、 の場所にありました。

写真を比べてみますと、この周辺の利便性がかなり良くなったことを感じますね。